

中心市街地活性化 好取組事例

人口規模別分類(5～10万人)

市町村名	大仙市(秋田県)【平成22年11月30日認定】		人口(平成27年国勢調査)		82,773人
計画期間	平成22年11月 ~ 平成28年3月				
目標指標	歩行者通行量				
基準値	2,924人／日 (平成21年)	目標値	3,234人／日 (平成27年)	実績値	3,762人／日 (平成27年)
取組概要	<p>○大曲通町地区第一種市街地再開発事業により、医療の充実強化に加え健康・福祉等新機能の導入やバスターミナルの再整備がなされ、中心市街地へのアクセス性、利便性が向上し、来街者が増加。</p> <p>○交流施設等に受診待機情報等を表示するモニターを設置。受診までの空き時間に気軽にまちなか歩きを楽しめるようになったことで回遊性が向上した。</p> <p>○商店街やまちづくりに意欲的な商店主らにより地域資源(発酵食品文化、花火等)をテーマとしたイベントが開催されるなど、民間での自立したにぎわいづくりも目標達成に寄与した。</p>				
					
	<p><多彩な交流・活動の拠点 市民活動交流拠点センター></p>		<p><商店主ら主催のイベントでにぎわう中心商店街></p>		

市町村名	須賀川(福島)【平成26年3月28日認定】		人口(平成27年国勢調査)		77,441人
計画期間	平成26年4月～平成31年3月				
目標指標	年平均出店者数(中心市街地内9商店会等の過去5年平均新規加入会員数)				
基準値	2.2店 (平成20～24年平均)	目標値	3.2店 (平成26～30年平均)	実績値	4.2店 (平成26～30年平均)
取組概要	<p>○中心市街地商業集積促進補助金事業については、中心市街地活性化ソフト事業を活用し、商店街組織等がエリア内に所在する空き店舗に新規出店者を誘導する場合に家賃及び改修費に対し一部補助を実施することにより、計画期間内に22店舗という期待以上の出店効果を生み出した。</p> <p>○また、多くの来館者数が見込める市民交流センター内に商業スペースを設ける市民交流センター内商業スペース整備事業(テナントミックス事業)において、5店舗分のスペースを整備し、新規出店を促すことにより5店舗の新規出店がされた。チャレンジショップ出店者は、将来的な中心市街地への出店意欲も高く、期間終了後の出店者増が期待される。</p> <p>○今後は、専門家から経理等の基礎知識から収益の核となる事業の見極めといった実務的なことまでアドバイスを受けられるような体制を整えるなど、チャレンジショップ出店者の実店舗出店がスムーズになるような支援を実施する。このように実体験と指導が合わせて行われることの効果と、集客力のある施設でのチャレンジという客付け効果により、将来において中心市街地の核となる店舗となることを期待している。</p> <p>○また、新たなチャレンジショップ出店者を生み出すため、商工会議所や地元金融機関等などと連携し進めている創業支援施策の会議の場における情報共有を行っていくとともに、中心市街地で民間主体により実施されているマルシェ事業の出店者への情報提供を実施していく。</p>				
					
	＜チャレンジショップ事業(カフェブース)＞		＜チャレンジショップ事業(物販等ブース)＞		

市町村名	十日町市(新潟県)【平成25年6月28日認定】		人口(平成27年国勢調査)	54,917人	
計画期間	平成25年7月 ~ 平成30年3月				
目標指標	文化、活動施設の利用者数及び屋外活動者数(年間)				
基準値	126,682人／年 (平成19～23年の平均)	目標値	148,000人／年 (平成29年)	実績値	188,169人／年 (平成29年)
取組概要	<p>○市民文化ホール・中央公民館(平成29年11月)や市民活動センター・まちなか公民館(平成28年6月)などの公益施設をまちなかに整備したことにより、これらの施設がにぎわいやまちづくり活動、文化活動の拠点となり、既存の公民館活動がまちなかで展開されることや当該施設を活用した新たな市民活動が生まれた。</p> <p>○市民交流センター(平成28年6月)等の建設にあたって計画段階から市民を交えた検討を行うことで、施設に対する関心が高まり、完成後には新たな市民活動展開の場として利用されているほか、高校生などの学習の場としての利用も多い。</p> <p>○NPO法人にぎわいを中心に、中心市街地内のイベントや施設の情報をフリーペーパーや地域コミュニティラジオなどで発信することにより、まちなかに訪れ活動する人が増えた。</p> <p>○今後、各施設利用者の一層の増加を図るとともに、各施設間の連携を図り来街者の回遊を促すことで、中心市街地全体へにぎわいを波及させていくことが必要である。</p>				
					
	<p><市民文化ホール・中央公民館整備事業></p>		<p><フリーペーパー「はちのす通信」></p>		

市町村名	守山市(滋賀県)【平成21年3月27日認定】		人口(平成27年国勢調査)	79,837人	
計画期間	平成21年3月 ~ 平成27年3月				
目標指標	福祉・文化・交流施設の利用者数				
基準値	126,082人 (平成19年)	目標値	163,000人 (平成26年)	実績値	244,182人 (平成26年)
取組概要	<p>○「子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち」「住民参加により、地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち」を目標に、「行政が半歩前に進み、民間がそれに続く」を基本として事業に取り組んできた結果、集える場所・憩える場所や訪れやすい環境、歴史に親しめる場などが創出された。</p> <p>○福祉・文化・交流・商業機能を合わせ持つ「中心市街地活性化交流プラザ(愛称:あまが池プラザ)」や、町家を活用して地域活性化施設や商業機能を持った「歴史文化まちづくり館(愛称:守山宿・町家“うの家”)」を整備したことによって、行き交う人が多様化しながら増加し、集客の核、賑わいの核となる場が創出された。</p> <p>○今後は新計画に追加した、教育文化・医療福祉拠点との連携を高めながら、まちの魅力を高め、歩いて楽しく回遊できるまちをめざす。</p>				
					
	<p><あまが池プラザ・あまが池親水緑地でのイベントの様子></p>		<p><うの家(町家歴史塾)></p>		

市町村名	福知山市(京都府)【平成23年3月25日認定】		人口(平成27年国勢調査)		78,956人
計画期間	平成23年4月 ~ 平成28年3月				
目標指標	観光・文化施設(7館)の入館者数				
基準値	70,855人 (平成21年)	目標値	78,000人 (平成27年)	実績値	85,673人 (平成27年)
取組概要	<p>○JR福知山駅の観光インフォメーションセンターにおいて、観光情報提供や展示を行うとともに、イベント情報の発信や市内観光施設との連携・情報提供を進めることで、来街者のまちなか観光を誘導した。</p> <p>○福知山城周辺賑わい創出施設「ゆらのガーデン」は、7店舗からなるテナントミックスとガーデンによって構成されており、市のシンボルである福知山城や美術館の入館者との相互利用が図られた。</p> <p>○「鉄道のまち 福知山」をアピールする拠点施設である「福知山鉄道館ポップランド」において、展示品の入れ替えのほか、乗車会や鉄道模型イベント等を開催し、リピーターを含めた集客強化を図った。</p> <p>○今後は、福知山城をはじめとした各施設が魅力を高めて相乗効果を図ることにより、より一層のにぎわいにつながるような取り組みを実施する。</p>				
					
	<p><福知山城周辺賑わい施設「ゆらのガーデン」></p>		<p><駅北口公園の賑わいイベント></p>		

市町村名	大村市(長崎県)【平成21年12月7日認定】		人口(平成27年国勢調査)	92,812人	
計画期間	平成21年12月 ~ 平成27年3月				
目標指標	歩行者・自転車通行量(平日・休日)の増加				
基準値	7,835人/日 (平成20年度)	目標値	8,120人/日 (平成26年度)	実績値	10,355人/日 (平成26年度)
取組概要	<p>○老朽化した商業・住宅施設を再開発し、平成24年10月に分譲マンションが完成、同年11月に商業施設「コレモおおむら」がオープンする等、商業施設等と一体となった利便性豊かな居住空間の整備を行った。</p> <p>○中心市街地内の回遊性の向上を図るため、商店街の休憩スペース等として、長椅子や情報案内板を備える公園を整備するとともに、散策路や公共施設のユニバーサルデザイン化を実施。</p> <p>○フリーマーケットやミニシアターなど多彩なイベントの開催が可能な広場や、多世代交流拠点となる市民交流プラザの整備を行うことで、親子連れを中心に新たな人の流れが創出された。</p>				
					
	<p><商業施設 コレモおおむら></p>		<p><親子連れで賑わう市民交流プラザ></p>		

市町村名	日向市(宮崎県)【平成20年3月12日認定】		人口(平成27年国勢調査)		61,777人
計画期間	平成20年4月～平成26年3月				
目標指標	歩行者・自転車通行量				
基準値	1,700人 (平成18年)	目標値	2,250人 (平成25年)	実績値	2,479人 (平成25年)
取組概要	<p>○平成18年12月に開業した新しい日向市駅は、中心市街地の核はもとより本市の玄関口として集客・回遊の拠点となると伴に、街のシンボリックな存在として賑わいの創出に大きく寄与した。</p> <p>○駅前交流広場、野外ステージ及び11街区の公園広場が完成するなど区域内に計画されていた交流拠点施設が概ね完成した事によりイベント環境が尚一層充実し、市民企画によるイベント数増加により集客数も大幅に伸びた。</p> <p>○中心市街地の区画整理事業による商業集積や空き店舗対策事業、コミュニティバス増便などの効果として、若年層や高齢者の来街者が増えた。</p>				
					
	<p><日向ひよつとこ夏祭り(毎年8月開催)></p>		<p><交流広場の噴水で遊ぶ子供達></p>		